

令和 8年 2月 4日

報道機関 各位

公開シンポジウム「山陰観光の未来を想像／創造する」開催

◆本件のポイント

- ・山陰研究センターで実施している観光をテーマにした研究プロジェクトの成果報告です。
- ・山陰地域における持続可能な観光の「想像／創造」を試みます。
- ・地方都市にとって観光とはどのような意味をもつのかを一緒に考えましょう。

◆本件の概要

公開シンポジウム「山陰観光の未来を想像／創造する」を開催します。

コロナ以降、日本を訪れる観光客は増加しています。松江市でも NHK 連続テレビ小説『ばけけ』の舞台として大きな経済効果が見込まれます。

しかし観光は「水もの」といわれます。山陰地域における持続可能な観光とはどのようなものか。地方都市にとって観光とはどのような意味をもつのか。みなさんと今後の山陰地域の観光を「想像／創造」してみたいと思います。

本シンポジウムは学生・一般の方にもひろく開かれたものです。ご興味のある方は、ぜひ足を運んでみてください。

◆概要内容

公開シンポジウム「山陰観光の未来を想像／創造する」

【日 時】2026 年 2 月 11 日(水・祝) 13:00～17:30

【場 所】島根大学松江キャンパス 生物資源科学部 3 号館  
(〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060)

プログラムは添付のチラシをご参照ください。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 法文学部 准教授 福井栄二郎

電 話:0852-32-6188

メール:fukui[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2026012600012/>



【 添付資料:    ☒あり( 1 枚 )    ☐なし    】

## 公開シンポジウム

# 山陰観光の未来を 想像／創造する

日時

2026年2月11日(水・祝)  
13:00～17:30

場所

島根大学  
生物資源科学部  
3号館

## プログラム

### 第一部 基調講演

門田 岳久(立教大学観光学部)

「人口減少にどう向き合うかー地域と観光の複雑な関係」

### 第二部 研究発表

小長谷 悠紀(島根県立大学)・竹田 茉耶(大阪観光大学)

江角 智也(島根大学)・陳 泓旭(島根県立大学)

### 第三部 パネルディスカッション

野津 聖(島根県観光振興課)

工藤 翔太(Work Design Lab)

青山 航平(ゲストハウス「余白」代表)

### 第四部 ポスター発表

島根大学と島根県立大学の学生による研究成果の発表

「観光実践」「観光演習」「しまね観光  
NEXTクリエイターズProject」  
その他ゼミ・実習・卒論など

当日、島根大学総合博物館アシカルを特別開館いたします



参加無料  
(事前登録不要)

主催: 島根大学 法文学部 山陰研究センター  
共催: 島根大学 国際観光教育推進センター

プログラムの詳細はこちらのQRコードから

